

第3期データヘルス計画支援レポート (項目解説書)



- このたびは、「第3期データヘルス計画支援レポート」（以下、「本レポート」）をご採用いただき、誠にありがとうございます。
- この「第3期データヘルス計画支援レポート(項目解説書)」（以下、「本解説書」）では、本レポートの作成に用いたデータや項目の定義等をお示しています。分析の手法等についてご確認いただくとともに、データヘルス計画の策定・実行並びに、貴組合と事業主とのコラボヘルスの推進の一助となれば幸いです。
- なお、特に断りのない限り、下記用語に関しては本解説書において共通の定義や算出方法等となります。

《本解説書における用語定義》

用語	定義・算出方法等
医療費	(レセプトデータの合計点数(主保険))×10+(食事療養・生活療養合計金額)で医療費を算出
高血圧症	ICD10=I10, I11, I12, I13, I15を、高血圧症と定義
脂質異常症	ICD10=E78.0, E78.1, E78.5を、脂質異常症と定義
糖尿病	ICD10=E11~14を、糖尿病と定義
心疾患	ICD10=I20~I25, I30~I52を、心疾患と定義
脳血管疾患	ICD10=I61, I64, I63.9を、脳血管疾患と定義
胃がん	ICD10=C16を、胃がんと定義
肺がん	ICD10=C33~34を、肺がんと定義
大腸がん	ICD10=C18~C20を、大腸がんを、大腸がんとして定義
乳がん	ICD10=C50を、乳がんとして定義 ※乳がんには男性の乳がんも含まれます
子宮頸がん	ICD10=C53を、子宮頸がんとして定義
年齢の判別	年度末時点の年齢で対象者を判別
特定保健指導の対象者	「積極的支援」または「動機付け支援」の該当する方を、特定保健指導の対象者と定義（特定保健指導の基準は、本解説書P.16参照）
最新年度	お預かりしたデータの最も新しい年度
全加入者	適用データでご提供いただいた加入者 ※本レポートは「作成単位データ」に関わらず、適用データ上の全ての加入者を対象に作成します。また、過年度の分析に際しては、各年度末の加入者を対象にレポートを作成します。
健診データ対象加入者	ご提供いただいた健診データの対象年齢に属する加入者。 ※健診データの対象年齢は、本レポート作成前の「受診チェックシート」で確認させていただいております。

本書に記載された内容の著作権はすべて日本生命保険相互会社に帰属します。
本書に記載された分析手法や分析内容の無断転載を禁じます。

《本解説書におけるリスク判定基準》

○生活習慣病のリスク基準は「標準的な健診・保健指導プログラム」に基づき、以下の設定となります。

リスク判定基準	血圧		脂質				
	収縮期血圧	拡張期血圧	空腹時中性脂肪	随時中性脂肪***	HDL-C	LDL-C	Non-LDL-C
リスク高 受診勧奨判定基準域	140mmHg以上	または 90mmHg以上	300mg/dL以上	または 300mg/dL以上	または —	または 140mg/dL以上	または 170mg/dL以上
リスク中 保健指導判定基準域	130mmHg以上 140mmHg未満	または 85mmHg以上 90mmHg未満	150mg/dL以上 300mg/dL未満	または 175mg/dL以上 300mg/dL未満	または 40mg/dL未満	または 120mg/dL以上 140mg/dL未満	または 150mg/dL以上 170mg/dL未満
リスク低 正常域	130mmHg未満	かつ 85mmHg未満	150mg/dL未満	かつ 175mg/dL未満	かつ 40mg/dL以上	かつ 120mg/dL未満	かつ 150mg/dL未満

リスク判定基準	血糖		
	空腹時血糖	HbA1c*	随時血糖**
リスク高・ 受診勧奨判定基準域	126mg/dL以上	または 6.5%以上	または 126mg/dL以上
リスク中 保健指導判定基準域	100mg/dL以上 126mg/dL未満	または 5.6%以上 6.5%未満	または 100mg/dL以上 126mg/dL未満
リスク低 正常域	100mg/dL未満	かつ 5.6%未満	かつ 100mg/dL未満

*空腹時血糖が有効でない場合のみ使用
**空腹時血糖・HbA1cが有効でない場合のみ使用
***空腹時中性脂肪が有効でない場合のみ使用

リスク判定基準	肥満		肝機能			腎機能
	腹囲	BMI	AST(GOT)	ALT(GPT)	Γ-GT(γ-gtp)	eGFR
リスク高 受診勧奨判定基準域	—	—	51U/L以上	51U/L以上	101U/L以上	45ml/分/1.73㎡未満
リスク中 保健指導判定基準域	85cm以上(男性) 90cm以上(女性)	25以上	31U/L以上 51U/L未満	31U/L以上 51U/L未満	51U/L以上 101U/L未満	60ml/分/1.73㎡未満
リスク低 正常域	85cm未満(男性) 90cm未満(女性)	25未満	31U/L未満	31U/L以上	51U/L未満	60ml/分/1.73㎡以上

リスク高・中・低の定義は、「事業所等別医療費・健診分析レポート」における定義と同一ですが、「事業所等別医療費・健診分析レポート」ではさらに治療の有無によりリスク区分を細分化していますので、併せてご確認ください。

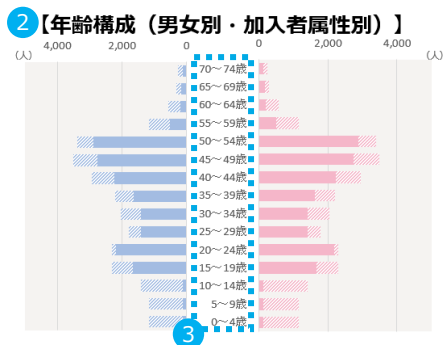
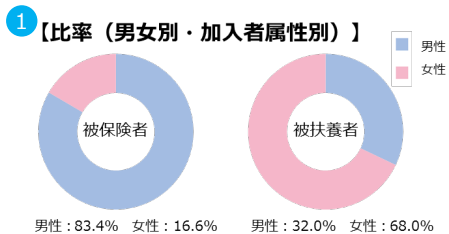
○なお、2023年度以前の分析では、脂質リスクは以下の基準となります。(※2023年度までとの変更点に下線)

リスク判定基準	脂質			
	中性脂肪	HDL-C	LDL-C	Non-LDL-C
リスク高 受診勧奨判定基準域	300mg/dL以上	<u>35mg/dL未満</u>	140mg/dL以上	170mg/dL以上
リスク中 保健指導判定基準域	150mg/dL以上 300mg/dL未満	<u>35mg/dL以上</u> <u>40mg/dL未満</u>	120mg/dL以上 140mg/dL未満	150mg/dL以上 170mg/dL未満
リスク低 正常域	150mg/dL未満	40mg/dL以上	120mg/dL未満	150mg/dL未満

上記基準は「標準的な健診・保健指導プログラム」(厚生労働省)に基づき、上記の基準に該当する加入者数を算出しています。
(「第4期特定健診・特定保健指導」に基づき、2024年度以降の脂質・血糖リスク判定は食後採血時間も考慮)
健診結果から機械的に判別したものであり、加入者の健康状態に対して、医師の医学的判断に基づく疾病の診断を行うものではありません。

目次

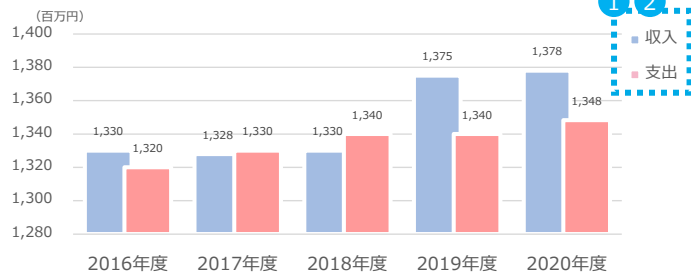
第3期データヘルス計画支援レポートの構成			本解説書の該当ページ
P.2	加入者構成	⇒	P.5
P.3	財政収支状況・保険料率の推移・高額療養費の推移	⇒	P.6
P.4	医療費	⇒	P.7
P.5	医療費の構成要素	⇒	P.8-9
P.6	高血圧症・脂質異常症・糖尿病のリスク者の推移・将来予測	⇒	P.10-11
P.7	健診受診状況	⇒	P.12-13
P.8	生活習慣分析	⇒	P.14
P.9	特定保健指導の実施状況	⇒	P.15-21
P.10	主要疾患分析（高血圧症・脂質異常症・糖尿病）	⇒	P.22-24
P.11	主要疾患分析（心疾患・脳血管疾患〔循環器〕）	⇒	P.25-26
P.12-13	主要疾患分析（悪性新生物）	⇒	P.27-31
P.15	アウトプット・アウトカム指標①	⇒	P.32-36
P.16	アウトプット・アウトカム指標②	⇒	P.37-39
P.17	アウトプット・アウトカム指標③	⇒	P.40
P.18-19	保健事業の効果検証	⇒	P.41-42



項目	定義・算出方法等
1 比率（男女別・加入者属性別）	最新年度における、性別、被保険者・被扶養者ごとの加入者の割合
2 年齢構成（男女別・加入者属性別）	最新年度における、年齢、性別、被保険者・被扶養者ごとの加入者の割合
3 年齢構成	最新年度の年度末時点の年齢で判定

	男性				女性			
	被保険者		被扶養者		被保険者		被扶養者	
	人数	全体に占める割合	人数	全体に占める割合	人数	全体に占める割合	人数	全体に占める割合
3 総合計	999,999人	999.9%	999,999人	999.9%	999,999人	999.9%	999,999人	999.9%
70～74歳	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%
65～69歳	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%
60～64歳	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%
55～59歳	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%
50～54歳	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%
45～49歳	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%
40～44歳	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%
35～39歳	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%
30～34歳	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%
25～29歳	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%
20～24歳	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%
15～19歳	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%
10～14歳	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%
5～9歳	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%
0～4歳	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%	99,999人	999.9%

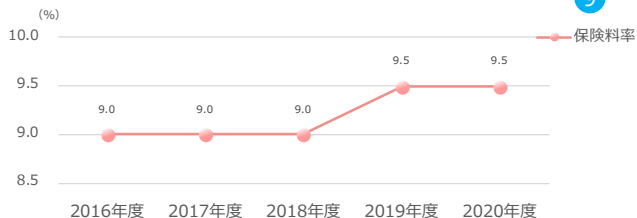
〈財政収支状況〉



■データヘルス計画の各期間における被保険者1人あたり金額

	第1期平均 (2015~17年度)	第2期前半平均 (2018~20年度)	第2期後半平均 (2021~23年度)
3 収入	999,999,999円	999,999,999円	999,999,999円
4 支出	999,999,999円	999,999,999円	999,999,999円
5 保険給付費	999,999,999円	999,999,999円	999,999,999円
6 うち高額療養費	999,999,999円	-	999,999,999円
7 納付金負担	999,999,999円	999,999,999円	999,999,999円
8 保健事業費	999,999,999円	999,999,999円	999,999,999円

〈保険料率の推移〉



〈高額療養費の推移〉



項目	定義・算出方法等
1 収入	健康保険組合連合会が提供する「収入支出決算概要表(その2)」における「収入(決算額)」の該当期間の値を表示
2 支出	健康保険組合連合会が提供する「収入支出決算概要表(その2)」における「支出(決算額)」の該当期間の値を表示
3 収入 (被保険者1人あたり)	健康保険組合連合会が提供する「収入支出決算概要表(その2)」における「収入(被保険者1人当たり額)」の該当期間の平均値を表示
4 支出 (被保険者1人あたり)	健康保険組合連合会が提供する「収入支出決算概要表(その2)」における「支出(被保険者1人当たり額)」の該当期間の平均値を表示
5 保険給付費 (被保険者1人あたり)	健康保険組合連合会が提供する「収入支出決算概要表(その2)」における「保険給付費・小計(被保険者1人当たり額)」の該当期間の平均値を表示
6 うち高額療養費 (被保険者1人あたり)	健康保険組合連合会が提供する「収入支出決算概要表(その2)」における「法定給付費・高額療養費(被保険者1人当たり額)」の該当期間の平均値を表示
7 納付金負担 (被保険者1人あたり)	健康保険組合連合会が提供する「収入支出決算概要表(その2)」における「納付金・小計(被保険者1人当たり額)」の該当期間の平均値を表示
8 保健事業費 (被保険者1人あたり)	健康保険組合連合会が提供する「収入支出決算概要表(その2)」における「保健事業費・小計(被保険者1人当たり額)」の該当期間の平均値を表示
9 保険料率	健康保険組合連合会が提供する「収入支出決算概要表(その1)」における「法定給付費等に要する保険料率」の該当期間の値を表示
10 高額療養費	健康保険組合連合会が提供する「収入支出決算概要表(その2)」における「法定給付費・高額療養費(決算額)」の該当期間の値を表示

共済組合様等、健康保険組合連合会が提供する「収入支出決算概要表」を作成されていない組合様の場合は、別途頂戴した数値にてレポートを作成しております。

医療費

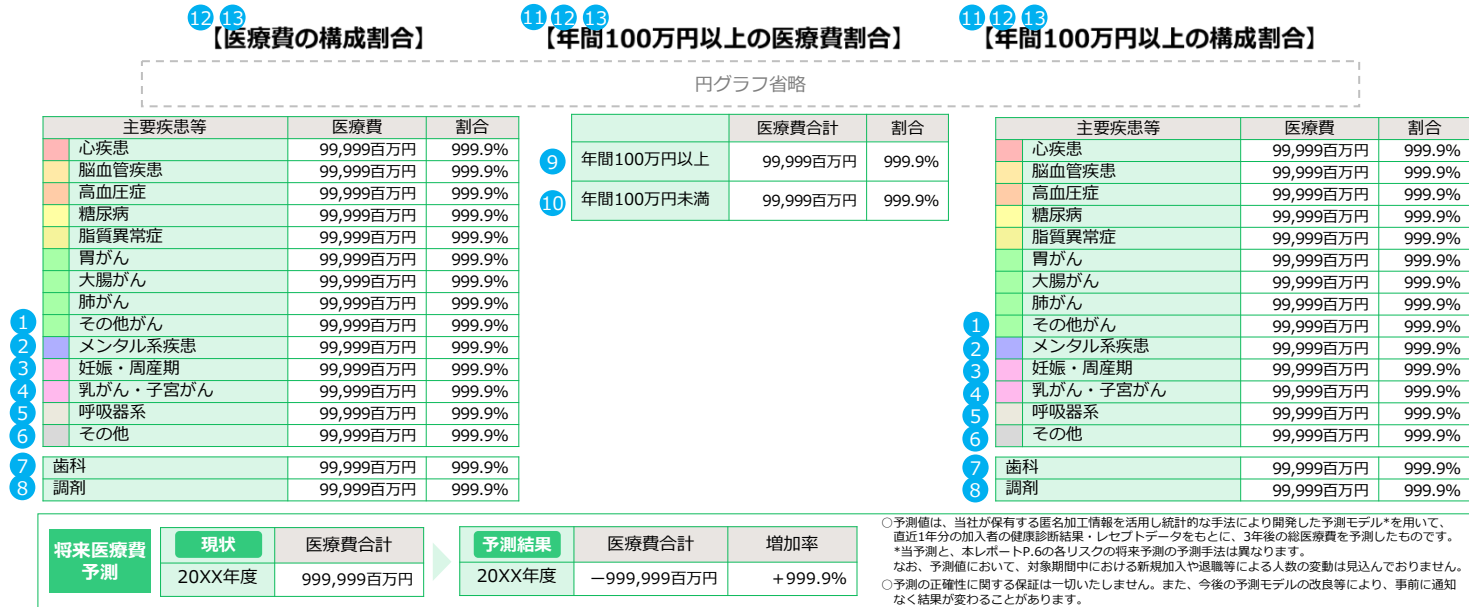
	合計				
	1人あたり医療費	受診率(千人あたり)	1件あたり日数	1日あたり医療費	
① 総合計	999,999円	999,999.9件	99.9日	999,999円	
全年齢・疾患別	② 高血圧症・脂質異常症・糖尿病	999,999円	999,999.9件	-	-
	③ 悪性新生物	999,999円	999,999.9件	-	-
	④ 心疾患・脳血管疾患(循環器)	999,999円	999,999.9件	-	-
	⑤ 歯科疾患	999,999円	999,999.9件	99.9日	999,999円
年代別	⑥ 40歳未満	999,999円	999,999.9件	99.9日	999,999円
	⑦ 40～59歳	999,999円	999,999.9件	99.9日	999,999円
	⑧ 60歳以上	999,999円	999,999.9件	99.9日	999,999円
⑮ 健保平均(20XX年度)	999,999円	999,999.9件	9.9日	999,999円	

⑬ 入院			
1人あたり医療費	受診率(千人あたり)	1件あたり日数	1日あたり医療費

⑭ 入院外			
1人あたり医療費	受診率(千人あたり)	1件あたり日数	1日あたり医療費

項目	定義・算出方法等
① 総合計	全加入者のレセプトデータを対象に集計
② 高血圧症・脂質異常症・糖尿病	高血圧症、脂質異常症、糖尿病のレセプトを対象に集計
③ 悪性新生物	ICD10=C00～C97のレセプトを対象に集計
④ 心疾患・脳血管疾患(循環器)	心疾患、脳血管疾患のレセプトを対象に集計
⑤ 歯科疾患	歯科レセプトを対象に集計
⑥ 40歳未満	40歳未満の加入者のレセプトを対象に集計
⑦ 40～59歳	40～59歳の加入者のレセプトを対象に集計
⑧ 60歳以上	60歳以上の加入者のレセプトを対象に集計
⑨ 1人あたり医療費	(各項目の医療費) ÷ (各項目に該当する加入者数)
⑩ 受診率(千人あたり)	(各項目のレセプト件数) ÷ (各項目に該当する加入者数) × 1000
⑪ 1件あたり日数	(各項目の「診療実日数(主保険)」) ÷ (各項目のレセプト件数) ※一つのレセプトデータに複数の疾患が管理されているケースがあることから、疾病別の「1件あたり日数」は「-」で表記
⑫ 1日あたり医療費	(各項目の医療費) ÷ (各項目の「診療実日数(主保険)」) ※一つのレセプトデータに複数の疾患が管理されているケースがあることから、疾病別の「1日あたり医療費」は「-」で表記
⑬ 入院	各項目の算出条件に加え、レセプトデータのレセプト種別が「入院」のデータに絞り込み算出
⑭ 入院外	各項目の算出条件に加え、レセプトデータのレセプト種別が「入院外」のデータに絞り込み算出
⑮ 健保平均	「健保組合医療費の動向に関する調査」(健康保険組合連合会)参照

医療費の構成要素

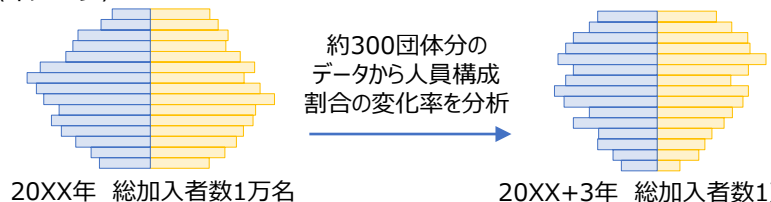
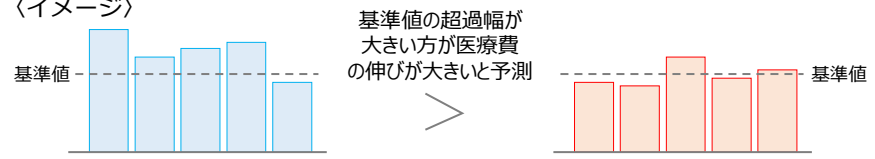


項目	定義・算出方法等
① その他がん	ICD10=C00~C97（※C16,C18~20,C33~C34,C50,C53~C55除く）を、その他がんと定義
② メンタル系疾患	ICD10=F00~F99を、メンタル系疾患と定義
③ 妊娠・周産期	ICD10=O00~O99, P00~P96を、妊娠・周産期と定義
④ 乳がん・子宮がん	ICD10=C50, C53~C55を、乳がん・子宮がんと定義
⑤ 呼吸器系	ICD10=J00~J99を、呼吸器系と定義
⑥ その他	表中に明記された疾患以外を、その他と定義（⑦ 歯科・⑧ 調剤を含む）
⑦ 歯科	歯科レセプトに管理された項目を、歯科と定義
⑧ 調剤	調剤レセプトに管理された項目を、調剤と定義
⑨ 年間100万円以上	年間の医療費が100万円以上の加入者を対象に集計
⑩ 年間100万円未満	年間の医療費が100万円未満の加入者を対象に集計
⑪ 年間100万円以上の構成割合	年間の医療費が100万円以上の加入者を分母として、疾患別の医療費・医療費割合を算出
⑫ 医療費	各項目の最新年度における医療費
⑬ 割合	（各項目の最新年度における医療費）÷（最新年度における総医療費）

医療費の構成要素

将来医療費 予測	① 現状	② 医療費合計	③ 予測結果	④ 医療費合計	⑤ 増加率
	20XX年度	999,999百万円	20XX年度	-999,999百万円	+999.9%

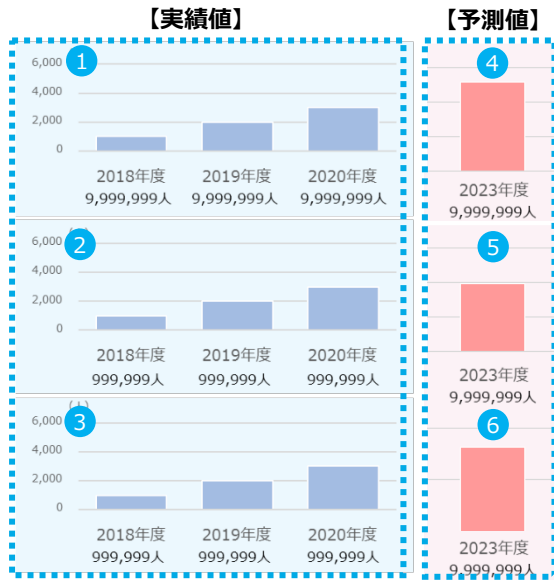
○予測値は、当社が保有する匿名加工情報を活用し統計的な手法により開発した予測モデル*を用いて、直近1年分の加入者の健康診断結果・レセプトデータをもとに、3年後の総医療費を予測したものです。
*当予測と、本レポートP.6の各リスクの将来予測の予測手法は異なります。
なお、予測値において、対象期間中における新規加入や退職等による人数の変動は見込んでおりません。
○予測の正確性に関する保証は一切いたしません。また、今後の予測モデルの改良等により、事前に通知なく結果が変わることがあります。

項目	定義・算出方法等
① 医療費合計	最新年度における、【医療費の構成割合】の表中の全項目（心疾患～その他）の医療費合計
② 医療費合計	<p>当社が独自で開発した予測モデルを用いて予測した、（最新年度+3年度）の医療費合計</p> <p><予測モデルイメージ></p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">3年後の組合 全体の医療費</div> <div style="margin: 0 10px;">=</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">当年度の組合 全体の医療費</div> <div style="margin: 0 10px;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">A 人員構成に 基づく伸び</div> <div style="margin: 0 10px;">+</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;">B リスク要素に 基づく伸び</div> </div> <p>A 性別・年代毎の3年後の人員構成割合を想定し、医療費の伸びを推計。 但し、総加入者数は変化しないものとする（人数の増減による医療費への影響は含まない）。 <イメージ></p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  </div> <p>B 健診項目（BMI値、収縮期血圧、LDL-C、血糖値等）のうち、医療費の伸びに大きな影響を与える項目を機械学習の手法を用いて選定のうえ、リスク要素として設定。 リスク要素ごとに基準値を設定し、最新年度の健診における基準値の超過幅の合計から、医療費の伸びを推計。 <イメージ></p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  </div> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px; text-align: center;">予測にあたっては、加入・脱退などによる人数の変動は見込んでおりません。 また、当予測と本解説書P.11の各リスクの将来予測の予測手法は異なります。</p>
③ 増加率	$(\text{最新年度} + 3 \text{の} \text{② 医療費合計}) \div (\text{最新年度の} \text{① 医療費合計}) - 1$

高血圧症
リスク者

脂質異常症
リスク者

糖尿病
リスク者

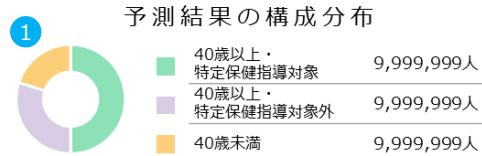


項目	定義・算出方法等
実績値	<p>① 高血圧症リスク者 以下の①②のいずれかに該当する加入者の人数 ①収縮期血圧が140mmHg以上 または 拡張期血圧が90mmHg以上 ②健診データで血圧に関する服薬が「あり」</p> <p>② 脂質異常症リスク者 以下の①②のいずれかに該当する加入者の人数 ①中性脂肪が300mg/dl以上 または HDL-Cが35mg/dl未満 または LDL-Cが140mg/dl以上 または Non-HDL-Cが170mg/dl以上 ②健診データで脂質に関する服薬が「あり」</p> <p>③ 糖尿病リスク者 以下①②のいずれかに該当する加入者の人数 ①HbA1cが6.5%以上 または 空腹時血糖が126mg/dl以上 ②健診データで血糖に関する服薬が「あり」</p>
予測値	<p>当社が独自で開発した予測モデルを用いて「新規リスク者」を判別して予測値を算出。最新年度の実績値に「新規リスク者」の人数を合算することで（最新年度+3年度）時点のリスク者を表す。</p> <p>各疾患の「新規リスク者」は、最新年度の健診データをインプットデータとしてそれぞれ以下の通り判別</p> <ul style="list-style-type: none"> ④ 高血圧症リスク者 最新年度からの3年以内に2年連続で、収縮期血圧が140mm/Hg以上 または 拡張期血圧が90mm/Hg以上と予測される方 ⑤ 脂質異常症リスク者 最新年度からの3年以内に2年連続で中性脂肪が150mg/dl以上 または HDL-Cが40mg/dl未満 または LDL-Cが140mg/dl以上と予測される方 ⑥ 糖尿病リスク者 最新年度からの3年以内にHbA1cが6.5%以上 または 空腹時血糖が126mg/dl以上と予測される方

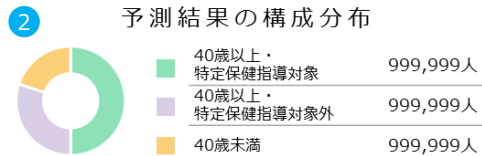
高血圧症
リスク者

脂質異常症
リスク者

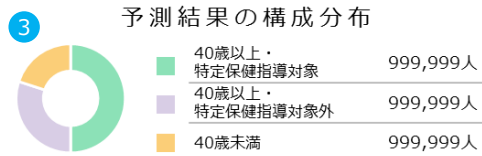
糖尿病
リスク者



予測結果の構成分布は、「実標準」の最新年度における年齢・特定保健指導基準の該当状況に基づいて判別しています



予測結果の構成分布は、「実標準」の最新年度における年齢・特定保健指導基準の該当状況に基づいて判別しています



予測結果の構成分布は、「実標準」の最新年度における年齢・特定保健指導基準の該当状況に基づいて判別しています

項目	定義・算出方法等						
予測結果の構成分布	<p>高血圧症リスク者・脂質異常症リスク者・糖尿病リスク者それぞれの「予測値」に該当する方を、下記の基準で振り分けて表示</p> <table border="1"> <tr> <td>40歳以上・特定保健指導対象</td> <td>最新年度末時点で「40歳以上」かつ最新年度末で特定保健指導対象の人数※</td> </tr> <tr> <td>40歳以上・特定保健指導対象外</td> <td>最新年度末時点で「40歳以上」かつ最新年度末で特定保健指導対象外の人数</td> </tr> <tr> <td>40歳未満</td> <td>最新年度末時点で「40歳未満」かつ最新年度末で特定保健指導対象外の人数</td> </tr> </table> <p>※本解説書P.17の、特定保健指導の判定基準に該当する方の人数</p>	40歳以上・特定保健指導対象	最新年度末時点で「40歳以上」かつ最新年度末で特定保健指導対象の人数※	40歳以上・特定保健指導対象外	最新年度末時点で「40歳以上」かつ最新年度末で特定保健指導対象外の人数	40歳未満	最新年度末時点で「40歳未満」かつ最新年度末で特定保健指導対象外の人数
40歳以上・特定保健指導対象	最新年度末時点で「40歳以上」かつ最新年度末で特定保健指導対象の人数※						
40歳以上・特定保健指導対象外	最新年度末時点で「40歳以上」かつ最新年度末で特定保健指導対象外の人数						
40歳未満	最新年度末時点で「40歳未満」かつ最新年度末で特定保健指導対象外の人数						
① 高血圧症リスク者	本解説書P.10の高血圧症リスク者の「予測値」基準に該当する方を、上記の基準表に従って表示						
② 脂質異常症リスク者	本解説書P.10の脂質異常症リスク者の「予測値」基準に該当する方を、上記の基準表に従って表示						
③ 糖尿病リスク者	本解説書P.10の糖尿病リスク者の「予測値」基準に該当する方を、上記の基準表に従って表示						

【定期健診（40歳未満）受診状況】

	2018年度	2019年度	2020年度
① 対象者数	99,999人	99,999人	99,999人
② 受診者数	99,999人	99,999人	99,999人
③ 受診率	999.9%	999.9%	999.9%
④ 受診率（健保平均）	999.9%	999.9%	999.9%

【特定健診（40歳以上）受診状況】

	2018年度	2019年度	2020年度
⑤ 対象者数	99,999人	99,999人	99,999人
⑥ 受診者数	99,999人	99,999人	99,999人
⑦ 受診率	999.9%	999.9%	999.9%
⑧ 受診率（健保平均）	999.9%	999.9%	999.9%

項目	定義・算出方法等
① 対象者数	40歳未満の被保険者数 ※被扶養者を除く
② 受診者数	健診データのある40歳未満の被保険者数 ※被扶養者を除く
③ 受診率	(② 受診者数) ÷ (① 対象者数)
④ 受診率 (健保平均)	「国民生活基礎調査」(厚生労働省) 参照 ※共済組合様の場合は、共済組合平均を表示
⑤ 対象者数	40歳以上74歳以下の加入者数 ※被扶養者を含む
⑥ 受診者数	健診データのある40歳以上74歳以下の加入者数 ※被扶養者を含む
⑦ 受診率	(⑥ 受診者数) ÷ (⑤ 対象者数)
⑧ 受診率 (健保平均)	「特定健康診査・特定保健指導の実施状況(概要)」(厚生労働省) 参照 ※共済組合様の場合は、共済組合平均を表示

【リスク階層（20XX年度）】

		① 保健指導 判定基準該当※	② 受診勧奨 判定基準該当※	③ 治療歴あり
40歳未満	腹囲	99,999人	-	-
	血圧	99,999人	99,999人	99,999人
	脂質	99,999人	99,999人	99,999人
	血糖	99,999人	99,999人	99,999人
	肝機能	99,999人	99,999人	99,999人
	腎機能	99,999人	99,999人	99,999人
40歳以上	腹囲	99,999人	-	-
	血圧	99,999人	99,999人	99,999人
	脂質	99,999人	99,999人	99,999人
	血糖	99,999人	99,999人	99,999人
	肝機能	99,999人	99,999人	99,999人
	腎機能	99,999人	99,999人	99,999人

項目	定義・算出方法等
① 保健指導 判定基準該当	p3の「保健指導判定基準域」のいずれかに該当する加入者数（ただし、③ 治療歴ありに該当する 場合を除く）
② 受診勧奨 判定基準該当	p3の「受診勧奨判定基準域」のいずれかに該当する加入者数（ただし、③ 治療歴ありに該当する 場合を除く）
③ 治療歴あり	以下の条件に該当する加入者数

【質問票の状況（20XX年度）】

		2018年度	2019年度	2020年度	8 健保平均 (20XX年度)	
1	運動	1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施	999.9%	999.9%	999.9%	999.9%
2	食事①	就寝前2時間以内に夕食をとることが週に3回未満	999.9%	999.9%	999.9%	999.9%
3	食事②	朝食を抜く頻度が週に3回未満	999.9%	999.9%	999.9%	999.9%
4	飲酒①	飲酒をほとんどしない	999.9%	999.9%	999.9%	999.9%
5	飲酒②	1日あたり飲酒量が2合未満	999.9%	999.9%	999.9%	999.9%
6	喫煙	現時点で喫煙習慣がない	999.9%	999.9%	999.9%	999.9%
7	睡眠	睡眠で十分な休養がとれている	999.9%	999.9%	999.9%	999.9%

項目	定義・算出方法等
1 運動	(健診の「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施」という問診項目に「はい」と回答した加入者数) ÷ (問診に回答した加入者数)
2 食事①	(健診の「就寝前2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある」という問診項目に「いいえ」と回答した加入者数) ÷ (問診に回答した加入者数)
3 食事②	(健診の「朝食を抜くことが週に3回以上ある」という項目に「いいえ」と回答した加入者数) ÷ (問診に回答した加入者数)
4 飲酒①	<p>■2024年度以降の分析（※2023年度までとの変更点に下線） (健診の「お酒を飲む頻度」という問診項目に「④週1～2日」「⑤月に1～3日」「⑥月に1日未満」「⑦やめた」「⑧飲まない(飲めない)」と回答した加入者数) ÷ (問診に回答した加入者数)</p> <p>■2018年度～2023年度の分析 (健診の「お酒を飲む頻度」という問診項目に「ほとんど飲まない(飲めない)」と回答した加入者数) ÷ (問診に回答した加入者数)</p>
5 飲酒②	(健診の「飲酒日1日あたりの飲酒量」という問診項目に「1合未満」または「1～2合未満」と回答した加入者数) ÷ (問診に回答した加入者数)
6 喫煙	<p>■2024年度以降の分析（※2023年度までとの変更点に下線） (健診の「現在、たばこを習慣的に吸っている」という問診項目に「②以前は吸っていたが、最近1か月間は吸っていない」「③いいえ」と回答した加入者数) ÷ (問診に回答した加入者数)</p> <p>■2018年度～2023年度の分析 (健診の「現在、たばこを習慣的に吸っている」という問診項目に「いいえ」と回答した加入者数) ÷ (問診に回答した加入者数)</p>
7 睡眠	(健診の「睡眠で休養が十分とれている」という問診項目に「はい」と回答した加入者数) ÷ (問診に回答した加入者数)
8 健保平均	「特定健診の「問診回答」に関する調査」(健康保険組合連合会) 参照

【特定保健指導実施状況】

	2018年度	2019年度	2020年度
① 健診受診者数	99,999人	99,999人	99,999人
② 指導対象者数	99,999人	99,999人	99,999人
③ 対象者割合	999.9%	999.9%	999.9%
④ 実施者数	99,999人	99,999人	99,999人
⑤ 実施率	999.9%	999.9%	999.9%
⑥ 実施率（健保平均）	999.9%	999.9%	999.9%

項目	定義・算出方法等
① 健診受診者数	対象年度の年度末時点で40歳以上74歳以下の加入者のうち、健診データがある方の人数
② 指導対象者数	対象年度の年度末時点で40歳以上74歳以下の加入者のうち、特定保健指導対象者の人数
③ 対象者割合	(② 指導対象者数) ÷ (① 健診受診者数)
④ 実施者数	対象年度の年度末時点で40歳以上74歳以下の加入者のうち、特定保健指導データがある方の人数
⑤ 実施率	(④ 実施者数) ÷ (② 指導対象者数)
⑥ 実施率（健保平均）	「特定健康診査・特定保健指導の実施状況（概要）」（健康保険組合連合会）参照

特定保健指導の実施状況

- 本レポートのP.9は、特定保健指導の実施状況について分析したもので、加入者の特定保健指導基準への該当状況を踏まえて分析しています。
- 各分析項目と特定保健指導の関係については、下記一覧をご確認ください。

《分析項目と特定保健指導の関係（「2020年→2021年」の項目欄の場合）》

各年度における、加入者各人の特定保健指導対象への該当状況に応じて、①～④の項目を集計しています。①～④の項目の詳細な判定条件は本解説書P.18～21をご確認ください。例えば、下表の通り、「2020年→2021年」における①の「脱却者数」では、2020年度に●（特定保健指導の対象）、2021年に○（特定保健指導の対象外）となった方を集計しています。

【1 指導対象からの脱却状況】

	2018年→2019年	2019年→2020年	2020年→2021年
脱却者数	99,999人	99,999人	99,999人
改善脱却	99,999人	99,999人	99,999人
脱却率	999.9%	999.9%	999.9%
服薬治療	99,999人	99,999人	99,999人
その他	99,999人	99,999人	99,999人

【2 継続対象者（リピーター）の状況】

	2018年→2019年	2019年→2020年	2020年→2021年
1年で脱却	99,999人	99,999人	99,999人
継続対象者数	99,999人	99,999人	99,999人
2年継続	99,999人	99,999人	99,999人
3年継続	99,999人	99,999人	99,999人
4年継続	99,999人	99,999人	99,999人
5年以上継続	99,999人	99,999人	99,999人

【3 リバウンド状況】

	2018年→2019年	2019年→2020年	2020年→2021年
リバウンド者数	99,999人	99,999人	99,999人
1年後にリバウンド	99,999人	99,999人	99,999人
2年後にリバウンド	99,999人	99,999人	99,999人
3年後にリバウンド	99,999人	99,999人	99,999人

【4 指導対象への新規該当状況】

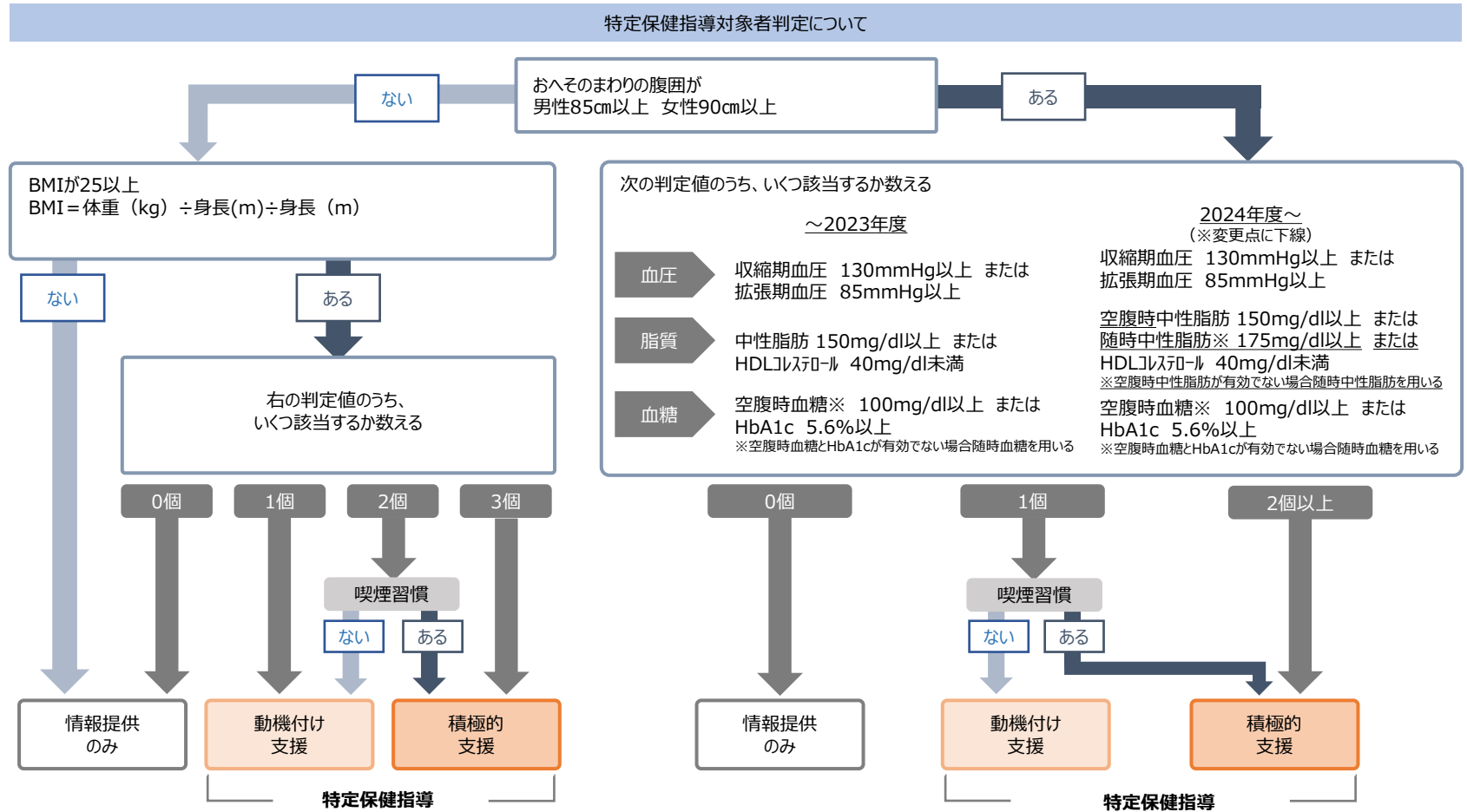
	2018年→2019年	2019年→2020年	2020年→2021年
新規該当者数	99,999人	99,999人	99,999人
40歳到達同時	99,999人	99,999人	99,999人
40歳到達済	99,999人	99,999人	99,999人

		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
1 指導対象からの脱却状況	脱却者数				●	○
	改善脱却				●	○
	服薬治療				●	○
	その他				●	○
2 継続対象者の状況	1年で脱却			○	●	○
	継続対象者				●	●
	2年継続			○	●	●
	3年継続		○	●	●	●
	4年継続	○	●	●	●	●
5年以上継続	●	●	●	●	●	
3 リバウンド状況	リバウンド者数	特定保健指導に1回以上該当			○	●
	1年後にリバウンド			●	○	●
	2年後にリバウンド		●	○	○	●
	3年後にリバウンド	●	○	○	○	●
4 指導対象への新規該当状況	新規該当者数	特定保健指導に1回も該当なし				●
	40歳到達同時	特定保健指導に1回も該当なし（年度末時点の年齢が40歳未満）				●
	既40歳到達済	特定保健指導に1回も該当なし（年度末時点の年齢が40歳以上）				●

○：特定保健指導の対象外 ●：特定保健指導の対象

<参考> 特定健診・特定保健指導について

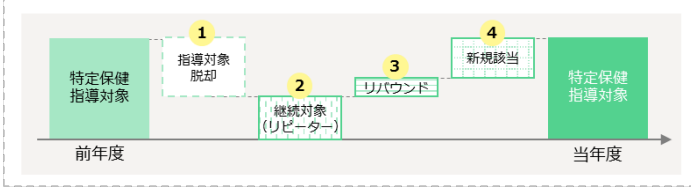
- 特定健診・特定保健指導とは、40歳以上75歳未満の被保険者・被扶養者を対象とする、内臓脂肪型肥満に着目した健診及び保健指導のことで、高齢者の医療の確保に関する法律に基づいて義務付けられています。
 ※特定健診の対象者は、特定健診の実施年度中に40歳～74歳となる方で、実施年度の4月1日時点での加入者であり、かつ、該当年度の1年間を通じて加入している方です。年度の途中で加入された方・脱退された方は原則として対象外です。
- 特定保健指導対象とは、特定健診の受診者のうち、健診の結果、保健指導レベルが「積極的支援」または「動機付け支援」に該当することを意味しております。
 ※特定保健指導の対象者判定の考え方は以下の通りです。



糖尿病、脂質異常症、高血圧症等で服薬治療されている方は、特定保健指導の対象とはなりません。
 また、65～74歳の人は、積極的支援の対象となった場合でも、動機付け支援を行います。

特定保健指導の実施状況

＜特定保健指導対象の考え方＞



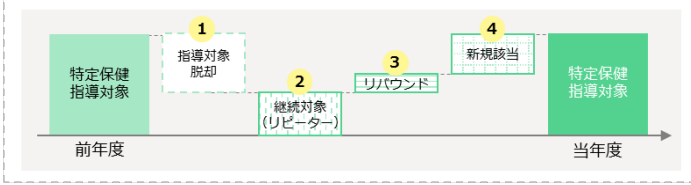
【1 指導対象からの脱却状況】

	2018年→2019年	2019年→2020年	2020年→2021年
1 脱却者数	99,999人	99,999人	99,999人
2 改善脱却	99,999人	99,999人	99,999人
3 脱却率	999.9%	999.9%	999.9%
4 服薬治療	99,999人	99,999人	99,999人
5 その他	99,999人	99,999人	99,999人

項目	定義・算出方法等（「2020年→2021年」の項目欄を例に解説）
1 脱却者数	2021年度末時点で40歳以上74歳以下の加入者のうち、以下①②全てに該当する加入者 ① 2020年度に 特定保健指導の対象者に該当する ② 2021年度に 特定保健指導の対象者に該当しない 、または 健診データが存在しない
2 改善脱却	2021年度末時点で40歳以上74歳以下の加入者のうち、以下①-③全てに該当する加入者 ① 2020年度に 特定保健指導の対象者に該当する ② 2021年度に 特定保健指導の対象者に該当しない ③ 2021年度の健診データにおいて、 血圧・血糖・脂質のいずれも服薬「なし」
3 脱却率	(2 改善脱却) ÷ (1 脱却者数)
4 服薬治療	2021年度末時点で40歳以上74歳以下の加入者のうち、以下①-③全てに該当する加入者 ① 2020年度に 特定保健指導の対象者に該当する ② 2021年度に 特定保健指導の対象者に該当しない ③ 2021年度の健診データにおいて、 血圧・血糖・脂質のいずれかで服薬「あり」
5 その他	2021年度末時点で40歳以上74歳以下の加入者のうち、以下①②全てに該当する加入者 ① 2020年度に 特定保健指導の対象者に該当する ② 2021年度の健診データが存在しない（ 退社等を含む ）

特定保健指導の実施状況

<特定保健指導対象の考え方>



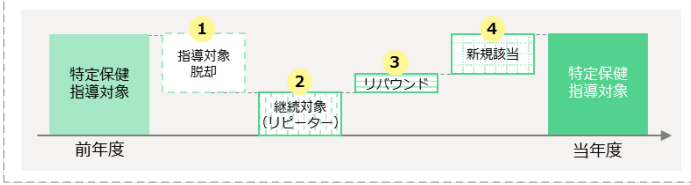
【2】継続対象者（リピーター）の状況

	2018年→2019年	2019年→2020年	2020年→2021年
① 1年で脱却	99,999人	99,999人	99,999人
② 継続対象者数	99,999人	99,999人	99,999人
③ 2年継続	99,999人	99,999人	99,999人
④ 3年継続	99,999人	99,999人	99,999人
⑤ 4年継続	99,999人	99,999人	99,999人
⑥ 5年以上継続	99,999人	99,999人	99,999人

項目	定義・算出方法等（「2020年→2021年」の項目欄を例に解説）
① 1年で脱却	2021年度末時点で40歳以上74歳以下の加入者のうち、以下①-③全てに該当する加入者 ① 2021年度に 特定保健指導の対象者に該当しない ② 2020年度に 特定保健指導の対象者に該当する ③ 2019年度に 特定保健指導の対象者に該当しない 、または 健診データが存在しない
② 継続対象者数	2021年度末時点で40歳以上74歳以下の加入者のうち、以下①②全てに該当する加入者 ① 2021年度に 特定保健指導の対象者に該当する ② 2020年度に 特定保健指導の対象者に該当する
③ 2年継続	2021年度末時点で40歳以上74歳以下の加入者のうち、以下①-③全てに該当する加入者 ① 2021年度に 特定保健指導の対象者に該当する ② 2020年度に 特定保健指導の対象者に該当する ③ 2019年度に 特定保健指導の対象者に該当しない 、または 健診データが存在しない
④ 3年継続	2021年度末時点で40歳以上74歳以下の加入者のうち、以下①-④全てに該当する加入者 ① 2021年度に 特定保健指導の対象者に該当する ② 2020年度に 特定保健指導の対象者に該当する ③ 2019年度に 特定保健指導の対象者に該当する ④ 2018年度に 特定保健指導の対象者に該当しない 、または 健診データが存在しない
⑤ 4年継続	2021年度末時点で40歳以上74歳以下の加入者のうち、以下①-⑤全てに該当する加入者 ① 2021年度に 特定保健指導の対象者に該当する ② 2020年度に 特定保健指導の対象者に該当する ③ 2019年度に 特定保健指導の対象者に該当する ④ 2018年度に 特定保健指導の対象者に該当する ⑤ 2017年度に 特定保健指導の対象者に該当しない 、または 健診データが存在しない
⑥ 5年以上継続	2021年度末時点で40歳以上74歳以下の加入者のうち、以下①-⑤全てに該当する加入者 ① 2021年度に 特定保健指導の対象者に該当する ② 2020年度に 特定保健指導の対象者に該当する ③ 2019年度に 特定保健指導の対象者に該当する ④ 2018年度に 特定保健指導の対象者に該当する ⑤ 2017年度に 特定保健指導の対象者に該当する

特定保健指導の実施状況

＜特定保健指導対象の考え方＞

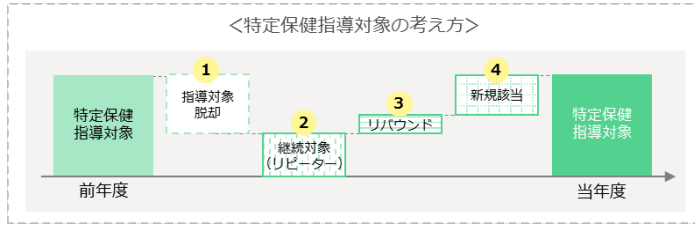


【3】リバウンド状況

	2018年→2019年	2019年→2020年	2020年→2021年
1 リバウンド者数	99,999人	99,999人	99,999人
2 1年後にリバウンド	99,999人	99,999人	99,999人
3 2年後にリバウンド	99,999人	99,999人	99,999人
4 3年後にリバウンド	99,999人	99,999人	99,999人

項目	定義・算出方法等（「2020年→2021年」の項目欄を例に解説）
1 リバウンド者数	2021年度末時点で40歳以上74歳以下の加入者のうち、以下①-④全てに該当する加入者 ① 2021年度に 特定保健指導の対象者に該当する ② 2020年度に 特定保健指導の対象者に該当しない ③ 2020年度に健診データにおいて、 血圧・血糖・脂質のいずれも服薬「なし」 ④ 2019年以前に 特定保健指導の対象者に該当する
2 1年後にリバウンド	2021年度末時点で40歳以上74歳以下の加入者のうち、以下①-④全てに該当する加入者 ① 2021年度に 特定保健指導の対象者に該当する ② 2020年度に 特定保健指導の対象者に該当しない ③ 2020年度の健診データにおいて、 血圧・血糖・脂質のいずれも服薬「なし」 ④ 2019年度に 特定保健指導の対象者に該当する
3 2年後にリバウンド	2021年度末時点で40歳以上74歳以下の加入者のうち、以下①-⑥全てに該当する加入者 ① 2021年度に 特定保健指導の対象者に該当する ② 2020年度に 特定保健指導の対象者に該当しない ③ 2020年度の健診データにおいて、 血圧・血糖・脂質のいずれも服薬「なし」 ④ 2019年度に 特定保健指導の対象者に該当しない ⑤ 2019年度の健診データにおいて、 血圧・血糖・脂質のいずれも服薬「なし」 ⑥ 2018年度に 特定保健指導の対象者に該当する
4 3年後にリバウンド	2021年度末時点で40歳以上74歳以下の加入者のうち、以下①-⑧全てに該当する加入者 ① 2021年度に 特定保健指導の対象者に該当する ② 2020年度に 特定保健指導の対象者に該当しない ③ 2020年度の健診データにおいて、 血圧・血糖・脂質のいずれも服薬「なし」 ④ 2019年度に 特定保健指導の対象者に該当しない ⑤ 2019年度の健診データにおいて、 血圧・血糖・脂質のいずれも服薬「なし」 ⑥ 2018年度に 特定保健指導の対象者に該当しない ⑦ 2018年度の健診データにおいて、 血圧・血糖・脂質のいずれも服薬「なし」 ⑧ 2017年度に 特定保健指導の対象者に該当する

特定保健指導の実施状況



【4】指導対象への新規該当状況

	2018年→2019年	2019年→2020年	2020年→2021年
1 新規該当者数	99,999人	99,999人	99,999人
2 40歳到達同時	99,999人	99,999人	99,999人
3 40歳到達済	99,999人	99,999人	99,999人

	BMI/腹囲	血圧/脂質/血糖
4 35-39歳における基準抵触状況	99,999人	99,999人

項目	定義・算出方法等（「2020年→2021年」の項目欄を例に解説）
1 新規該当者	2021年度末時点で39歳以上74歳以下の加入者のうち、以下①②全てに該当する加入者 ① 2021年度に 特定保健指導の対象者に該当する ② 2020年度以前に 特定保健指導の対象者に該当しない
2 40歳到達同時	2021年度末時点で39歳の加入者のうち、以下①②全てに該当する加入者 ① 2021年度に 特定保健指導の対象者に該当する ② 2020年度以前に 特定保健指導の対象者に該当しない
3 40歳到達済	2021年度末時点で40歳以上74歳以下の加入者のうち、以下①②全てに該当する加入者 ① 2021年度に 特定保健指導の対象者に該当する ② 2020年度以前に 特定保健指導の対象者に該当しない
4 35-39歳における基準抵触状況	最新年度末時点で35-39歳の加入者のうち、 ＜BMI/腹囲＞ P3の肥満（腹囲・BMIのいずれか）が「保健指導判定基準域」に該当する加入者 ＜血圧/脂質/血糖＞ P3の血圧・脂質・血糖のいずれかが「保健指導判定基準域」に該当する加入者



【リスク分析】

	2018年度	2019年度	2020年度	7 健保連平均 (20XX年度)
3 リスク高	99,999人 999.9%	99,999人 999.9%	99,999人 999.9%	999.9%
4 リスク中	99,999人 999.9%	99,999人 999.9%	99,999人 999.9%	999.9%
5 リスク低	99,999人 999.9%	99,999人 999.9%	99,999人 999.9%	999.9%
6 健診未受診 治療歴あり	99,999人 999.9%	99,999人 999.9%	99,999人 999.9%	-

表中下段の該当者割合（上記赤枠）の算出方法は、
（各項目の該当者数）÷（健診データ対象加入者数） となり、
 一方、表右側の「健保平均」の該当者割合（上記紫枠）は、
（各項目の該当者数）÷（健診受診者数） となります。
 各年度の割合と健保平均の割合は、算出方法が異なりますので、
 ご注意ください。

項目	定義・算出方法等
1 棒グラフ (高血圧症 罹患者数)	高血圧症の医療費が1円以上の加入者数
2 折れ線グラフ (高血圧症 罹患者率)	(高血圧症罹患者数) ÷ (年齢群別の全加入者数)
3 リスク高	P3の血圧の「リスク高・中・低」それぞれに該当する加入者数と、該当者の割合を表示 ※該当者の割合は、 (リスク高・中・低それぞれの該当者数) ÷ (健診データ対象加入者数) で算出
4 リスク中	※例えば、収縮期血圧が145mmHgかつ拡張期血圧が87mmHgなど、2つのリスク区分 に該当する場合はリスク区分が高い方で判定（上記の場合は「リスク高」と判定）
5 リスク低	
6 健診未受診 ・治療歴あり	以下の条件に該当する加入者と、健診データ対象加入者数に占める割合を表示 ・健診データが存在しない かつ ・高血圧症の医療費が1円以上
7 健保連平均	「健診検査値からみた加入者（40-74歳）の健康状態に関する調査」（健康保険組合連 合会）参照



【リスク分析】

	2018年度	2019年度	2020年度	7 健保連平均 (20XX年度)
3 リスク高	99,999人 999.9%	99,999人 999.9%	99,999人 999.9%	999.9%
4 リスク中	99,999人 999.9%	99,999人 999.9%	99,999人 999.9%	999.9%
5 リスク低	99,999人 999.9%	99,999人 999.9%	99,999人 999.9%	999.9%
6 健診未受診 治療歴あり	99,999人 999.9%	99,999人 999.9%	99,999人 999.9%	-

項目	定義・算出方法等
1 棒グラフ (脂質異常症 罹患者数)	脂質異常症の医療費が1円以上の加入者数
2 折れ線グラフ (脂質異常症 罹患者率)	(脂質異常症罹患者数) ÷ (年齢群別の全加入者数)
3 リスク高	P3の脂質の「リスク高・中・低」それぞれに該当する加入者数と、該当者の割合を表示 ※該当者の割合は、 (リスク高・中・低それぞれの該当者数) ÷ (健診データ対象加入者数) で算出
4 リスク中	※例えば、中性脂肪が300mmHgかつLDL-Cが38mmHgなど、複数のリスク区分に該当する場合は最も高いリスク区分で判定（上記の場合は「リスク高」と判定）
5 リスク低	
6 健診未受診・治療歴あり	以下の条件に該当する加入者と、健診データ対象加入者数に占める割合を表示 ・健診データが存在しない かつ ・脂質異常症の医療費が1円以上
7 健保連平均	「健診検査値からみた加入者（40-74歳）の健康状態に関する調査」（健康保険組合連合会）参照

表中下段の該当者割合（上記赤枠）の算出方法は、
(各項目の該当者数) ÷ (健診データ対象加入者数) となり、
 一方、表右側の「健保平均」の該当者割合（上記紫枠）は、
(各項目の該当者数) ÷ (健診受診者数) となります。
 各年度の割合と健保平均の割合は、算出方法が異なりますので、
 ご注意ください。



【リスク分析】

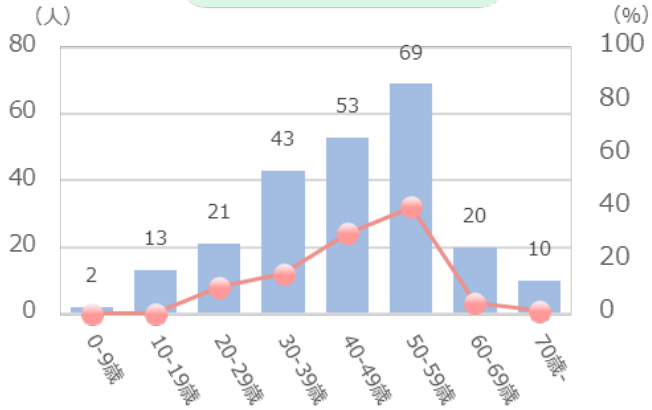
	2018年度	2019年度	2020年度	7 健保連平均 (20XX年度)
3 リスク高	99,999人 999.9%	99,999人 999.9%	99,999人 999.9%	999.9%
4 リスク中	99,999人 999.9%	99,999人 999.9%	99,999人 999.9%	999.9%
5 リスク低	99,999人 999.9%	99,999人 999.9%	99,999人 999.9%	999.9%
6 健診未受診 治療歴あり	99,999人 999.9%	99,999人 999.9%	99,999人 999.9%	-

表中下段の該当者割合（上記赤枠）の算出方法は、
（各項目の該当者数）÷（健診データ対象加入者数） となり、
 一方、表右側の「健保平均」の該当者割合（上記紫枠）は、
（各項目の該当者数）÷（健診受診者数） となります。
 各年度の割合と健保平均の割合は、算出方法が異なりますので、
 ご注意ください。

項目	定義・算出方法等
1 棒グラフ (糖尿病 罹患者数)	糖尿病の医療費が1円以上の加入者数
2 折れ線グラフ (糖尿病 罹患者率)	(糖尿病罹患者数) ÷ (年齢群別の全加入者数)
3 リスク高	P3の血糖の「リスク高・中・低」それぞれに該当する加入者数と、該当者の割合を表示 ※該当者の割合は、 (リスク高・中・低それぞれの該当者数) ÷ (健診データ対象加入者数) で算出
4 リスク中	
5 リスク低	
6 健診未受診 ・治療歴あり	以下の条件に該当する加入者と、健診データ対象加入者数に占める割合を表示 ・健診データが存在しない かつ ・糖尿病の医療費が1円以上
7 健保連平均	「健診検査値からみた加入者（40-74歳）の健康状態に関する調査」（健康保険組合連 合会）参照

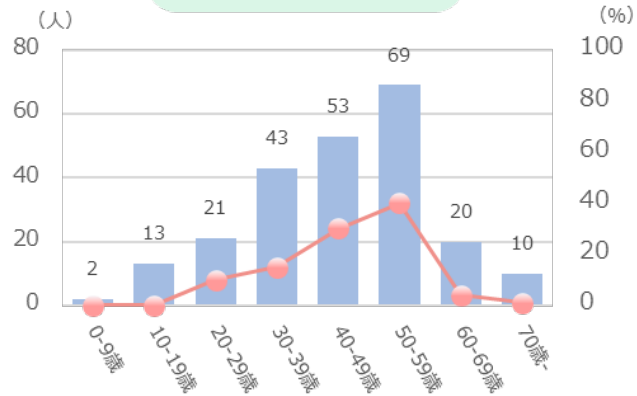
① ②

心疾患



③ ④

脳血管疾患



項目	定義・算出方法等
① 棒グラフ (心疾患罹患者数)	心疾患の医療費が1円以上の加入者数
② 折れ線グラフ (心疾患罹患者率)	(心疾患罹患者数) ÷ (年齢群別の全加入者数)
③ 棒グラフ (脳血管疾患罹患者数)	脳血管疾患の医療費が1円以上の加入者数
④ 折れ線グラフ (脳血管疾患罹患者率)	(脳血管疾患罹患症者数) ÷ (全加入者数) ※年齢群別に算出

【リスク分析】

	2018年度	2019年度	2020年度
① 高血圧症のリスク高	99,999人 999.9%	99,999人 999.9%	99,999人 999.9%
② 脂質異常症のリスク高	99,999人 999.9%	99,999人 999.9%	99,999人 999.9%
③ 糖尿病のリスク高	99,999人 999.9%	99,999人 999.9%	99,999人 999.9%
④ 喫煙	99,999人 999.9%	99,999人 999.9%	99,999人 999.9%
⑤ 上記4項目全てに該当	99,999人 999.9%	99,999人 999.9%	99,999人 999.9%

項目	定義
① 高血圧症のリスク高	P3の血圧の「リスク高」に該当する加入者数と、該当者の割合を表記 (定義および該当者の割合の算出式は、本解説書P.22のリスク高と同じ)
② 脂質異常症のリスク高	P3の脂質「リスク高」に該当する加入者数と、該当者の割合を表記 (定義および該当者の割合の算出方法は、本解説書P.23のリスク高と同じ)
③ 糖尿病のリスク高	P3の血糖「リスク高」に該当する加入者数と、該当者の割合を表記 (定義および該当者の割合の算出方法は、本解説書P.24のリスク高と同じ)
④ 喫煙	健診データにおいて「喫煙している」に該当する加入者数
⑤ 上記4項目全てに該当	高血圧症のリスク高・脂質異常症のリスク高・糖尿病のリスク高・喫煙のいずれにも該当する加入者数



	2018年度	2019年度	2020年度
3 検診受診率	99,999人 99.9%	99,999人 99.9%	99,999人 99.9%
4 要精密検査該当率	99,999人 99.9%	99,999人 99.9%	99,999人 99.9%

項目	定義・算出方法等						
1 棒グラフ (胃がん罹患患者数)	胃がんの医療費が1円以上の加入者数						
2 折れ線グラフ (胃がん罹患患者率)	$(\text{胃がん罹患患者数}) \div (\text{年齢群別の全加入者数})$						
3 検診受診率	$(\text{胃がん検診受診者数}) \div (\text{50歳以上の加入者数})$ 「がん予防重点教育及びがん検診実施のための指針」（厚生労働省）では、胃がん健診の対象者を下記の通り定義。健診受診率の算出にあたっては、50歳以上の加入者数を分母として算出						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>検査項目</th> <th>対象者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胃がん検診</td> <td>問診に加え、胃部エックス線検査または胃内視鏡検査のいずれか</td> <td>50歳以上</td> </tr> </tbody> </table>	種類	検査項目	対象者	胃がん検診	問診に加え、胃部エックス線検査または胃内視鏡検査のいずれか	50歳以上
種類	検査項目	対象者					
胃がん検診	問診に加え、胃部エックス線検査または胃内視鏡検査のいずれか	50歳以上					
4 要精密検査該当率	$(\text{胃がん検診で要精密検査に該当した人数}) \div (\text{胃がん検診受診者数})$						



	2018年度	2019年度	2020年度
3 検診受診率	99,999人 99.9%	99,999人 99.9%	99,999人 99.9%
4 要精密検査該当率	99,999人 99.9%	99,999人 99.9%	99,999人 99.9%

項目	定義・算出方法等						
1 棒グラフ (肺がん罹患患者数)	肺がんの医療費が1円以上の加入者数						
2 折れ線グラフ (肺がん罹患患者率)	$(\text{肺がん罹患患者数}) \div (\text{年齢群別の全加入者数})$						
3 検診受診率	$(\text{肺がん検診受診者数}) \div (\text{40歳以上の加入者数})$ 「がん予防重点教育及びがん検診実施のための指針」（厚生労働省）では、肺がん健診の対象者を下記の通り定義。健診受診率の算出にあたっては、40歳以上の加入者数を分母として算出						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>検査項目</th> <th>対象者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肺がん検診</td> <td>質問（問診）、胸部エックス線検査及び喀痰細胞診</td> <td>40歳以上</td> </tr> </tbody> </table>	種類	検査項目	対象者	肺がん検診	質問（問診）、胸部エックス線検査及び喀痰細胞診	40歳以上
種類	検査項目	対象者					
肺がん検診	質問（問診）、胸部エックス線検査及び喀痰細胞診	40歳以上					
4 要精密検査該当率	$(\text{肺がん検診で要精密検査に該当した人数}) \div (\text{肺がん検診受診者数})$						



	2018年度	2019年度	2020年度
3 検診受診率	99,999人 99.9%	99,999人 99.9%	99,999人 99.9%
4 要精密検査該当率	99,999人 99.9%	99,999人 99.9%	99,999人 99.9%

項目	定義・算出方法等						
1 棒グラフ (大腸がん罹患患者数)	大腸がんの医療費が1円以上の加入者数						
2 折れ線グラフ (大腸がん罹患患者率)	$(\text{大腸がん罹患患者数}) \div (\text{年齢群別の全加入者数})$						
3 検診受診率	$(\text{大腸がん検診受診者数}) \div (\text{40歳以上の加入者数})$ 「がん予防重点教育及びがん検診実施のための指針」（厚生労働省）では、大腸がん健診の対象者を下記の通り定義。健診受診率の算出にあたっては、40歳以上の加入者数を分母として算出						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>検査項目</th> <th>対象者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大腸がん検診</td> <td>問診及び便潜血検査</td> <td>40歳以上</td> </tr> </tbody> </table>	種類	検査項目	対象者	大腸がん検診	問診及び便潜血検査	40歳以上
種類	検査項目	対象者					
大腸がん検診	問診及び便潜血検査	40歳以上					
4 要精密検査該当率	$(\text{大腸がん検診で要精密検査に該当した人数}) \div (\text{大腸がん検診受診者数})$						



項目	定義・算出方法等						
① 棒グラフ (乳がん 罹患者数)	乳がんの医療費が1円以上の加入者数						
② 折れ線グラフ (乳がん 罹患者率)	(乳がん罹患者数) ÷ (年齢群別の全加入者数)						
③ 検診受診率	<p>(乳がん検診受診者数) ÷ (40歳以上の女性の加入者数)</p> <p>「がん予防重点教育及びがん検診実施のための指針」(厚生労働省)では、乳がん健診の対象者を下記の通り定義。健診受診率の算出にあたっては、40歳以上の女性の加入者数を分母として算出</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>検査項目</th> <th>対象者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乳がん検診</td> <td>問診及び乳房エックス線検査 (マンモグラフィ) ※視診、触診は推奨しない</td> <td>40歳以上</td> </tr> </tbody> </table>	種類	検査項目	対象者	乳がん検診	問診及び乳房エックス線検査 (マンモグラフィ) ※視診、触診は推奨しない	40歳以上
種類	検査項目	対象者					
乳がん検診	問診及び乳房エックス線検査 (マンモグラフィ) ※視診、触診は推奨しない	40歳以上					
④ 要精密検査 該当率	(乳がん検診で要精密検査に該当した人数) ÷ (乳がん検診受診者数)						

	2018年度	2019年度	2020年度
③ 検診 受診率	99,999人 99.9%	99,999人 99.9%	99,999人 99.9%
④ 要精密 検査 該当率	99,999人 99.9%	99,999人 99.9%	99,999人 99.9%



項目	定義・算出方法等						
① 棒グラフ (子宮頸がん 罹患者数)	子宮頸がんの医療費が1円以上の加入者数						
② 折れ線グラフ (子宮頸がん 罹患者率)	(子宮頸がん罹患者数) ÷ (年齢群別の全加入者数)						
③ 検診受診率	(子宮頸がん検診受診者数) ÷ (20歳以上の女性の加入者数) 「がん予防重点教育及びがん検診実施のための指針」(厚生労働省)では、子宮頸がん健診の対象者を下記の通り定義。健診受診率の算出にあたっては、20歳以上の女性の加入者数を分母として算出						
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>検査項目</th> <th>対象者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子宮頸がん検診</td> <td>問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診</td> <td>20歳以上</td> </tr> </tbody> </table>	種類	検査項目	対象者	子宮頸がん検診	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診	20歳以上
種類	検査項目	対象者					
子宮頸がん検診	問診、視診、子宮頸部の細胞診及び内診	20歳以上					
④ 要精密検査 該当率	(子宮頸がん検診で要精密検査に該当した人数) ÷ (子宮頸がん検診受診者数)						

	2018年度	2019年度	2020年度
③ 検診 受診率	99,999人 99.9%	99,999人 99.9%	99,999人 99.9%
④ 要精密 検査 該当率	99,999人 99.9%	99,999人 99.9%	99,999人 99.9%

課題	課題の優先付けの視点						アウトプット指標	アウトカム指標
	過年度の推移			③ 3ヵ年増加率	④ 未対応者 ^{※4}	⑤ 1人あたり医療費 ^{※4}	目標達成に向けた具体的な取組	目指すべき目標 ^{※5}
	2018年度	2019年度	2020年度	緊急度	対応余地	医療財政への影響度		
特定健診	① 受診者 999,999人 999.9%	999,999人 999.9%	999,999人 999.9%	-	999,999人 999.9%	999,999円	特定健診の受診勧奨の実施	特定健診受診率の引き上げ 単一健保：81% 共済組合：81% 総合健保等：76.5%
	② 医療費 999,999万円 999.9%	999,999万円 999.9%	999,999万円 999.9%		特定健診を受診していない方			

項目	定義・算出方法等
特定健診	対象年度の年度末時点で40歳以上74歳以下の加入者のうち、健診データがある場合を「特定健診」を受診したと定義
① 受診者	特定健診の受診者数（下段は、（受診者数）÷（40歳以上74歳以下の加入者数））
② 医療費	特定健診を受診した方の医療費（下段は、（特定健診を受診した方の医療費）÷（貴組合における総医療費））
③ 3ヵ年増加率	特定健診の受診者数は増加することが望ましく、緊急度の視点として適切とは言えないため、当項目は「-」で表記※ ※受診者数の増加に伴って医療費が増加することは十分に考えられるため、医療費についても当項目は「-」で表記
④ 未対応者	・年度末時点で40歳以上74歳以下の加入者のうち、特定健診を受けていない加入者を「未対応者」と定義 ・（最新年度の「未対応者数」）÷（最新年度の40歳以上74歳以下の加入者数）
⑤ 1人あたり医療費	（最新年度の② 医療費）÷（最新年度の① 受診者数）

<「緊急度」「対応余地」「医療財政への影響度」について>

- データヘルス計画の策定にあたっては、種々ある課題について優先度を設定してメリハリある取組みを進めることが重要です。課題の優先度を検討する際の切り口としては、「緊急度」「対応余地」「医療財政への影響度」等が考えられます。本レポートP.15-16の表において、該当する検討の切り口を表中に示しておりますので、課題の優先度を検討する際にご参照ください。
- 対象者数や医療費が増加傾向にある課題は何らかの対応が必要な「緊急度」の高い課題と思われることから、「3ヵ年増加率」は「緊急度」を判断する切り口としています。また、リスクの高い方の割合が多い場合も「緊急度」の高い課題と思われることから、「保健指導判定基準該当者」も「緊急度」を判断する切り口としています。
※「保健指導判定基準該当者」は、本解説書のP.37-38をご確認ください
※表中の数値が緊急度そのものを表すものではありません
- 課題で定義する基準値に該当しているものの、必要な対処ができていない方が多い場合は、「対応余地」の大きい課題と思われることから、「未対応者」及び「要対応者」は「対応余地」を判断する切り口としています。
※「要対応者」は、本解説書のP.37-39をご確認ください
- 課題の基準に該当する方の1人あたり医療費が高額なものは、貴組合の「医療財政への影響度」が大きい課題と思われることから、「1人あたり医療費」は「医療財政への影響度」を判断する切り口としています。
- 以降、本項目解説書のP.33-39においても上記と同様の考え方となります。

課題	課題の優先付けの視点						アウトプット指標	6 アウトカム指標	
	過年度の推移			3 3カ年増加率	4 未対応者※4	5 1人あたり医療費※4			目標達成に向けた具体的な取組
	2018年度	2019年度	2020年度						
1 透析予防治療の基準該当者 ※1	999,999人 999.9%	999,999人 999.9%	999,999人 999.9%	+999.9%	999,999人 999.9%	999,999円	未対応者ゼロへ 糖尿病に関して医療機関未受診の状態の方をなくす	6 アウトカム指標 目指すべき目標※5 透析予防治療の基準該当者を999,999人削減	
2 医療費	999,999万円 999.9%	999,999万円 999.9%	999,999万円 999.9%	+999.9%	糖尿病に関して医療機関を受診していない方				

項目	定義・算出方法等
透析予防治療の基準該当者	以下の①②にも該当する場合は「透析予防治療の基準該当者」と定義 ①HbA1cが6.5%以上 または レセプトデータのICD10がE11-E14 かつ インスリン療法区分が1 ②尿中アルブミン値が30以上 または eGFR値が30以上
① 該当者	上記基準に該当する方の人数（下段は、（該当者数）÷（健診データ対象加入者数））
② 医療費	上記基準に該当する方の医療費（下段は、（該当者の医療費）÷（貴組合における総医療費））
③ 3カ年増加率	・（最新年度の ① 該当者数）÷（最新年度－2年度の ① 該当者数）－1 ・（最新年度の ② 医療費）÷（最新年度－2年度の ② 医療費）－1
④ 未対応者	・最新年度の ① 該当者のうち、糖尿病の医療費が0円の方の人数 ・（上記の「未対応者」数）÷（最新年度の ① 該当者数）
⑤ 1人あたり医療費	（最新年度の ② 医療費）÷（最新年度の ① 該当者数）
⑥ アウトカム指標	② 医療費の「3カ年増加率」が、貴組合における総医療費の「3カ年増加率」と同水準となるために、削減したい ① 該当者の人数 具体的には、以下の式で算出 $\left(\left(\text{② 医療費の「3カ年増加率」} \right) - \left(\text{貴組合における総医療費の「3カ年増加率」} \right) \right) \times \left(\text{① 該当者数} \right)$ 例：最新年度における ① 該当者数が100名、② 医療費が2000万円、② 医療費の3カ年増加率が+10%、 貴組合における総医療費の3カ年増加率が+5%の場合 ・削減したい ② 医療費を、 $(2000\text{万円} \times (10\% - 5\%)) = 100\text{万円}$ と設定し ・削減したい ① 該当者は、削減したい ② 医療費を「1人あたり医療費」で除した金額 $(100\text{万円} \div (2000\text{万円} \div 100\text{名})) = 5\text{名}$ ※下線部が0以下となる場合は、「対前年度で透析予防治療の基準に該当する方を削減」を目標に設定

アウトプット・アウトカム指標①

課題	課題の優先付けの視点					アウトプット指標	6 アウトカム指標	
	過年度の推移			3 3カ年増加率	4 未対応者※4			5 1人あたり医療費※4
	2018年度	2019年度	2020年度	緊急度	対応余地			医療財政への影響度
1 受診勧奨の基準該当者	999,999人 999.9%	999,999人 999.9%	999,999人 999.9%	+999.9%	999,999人 999.9%	未対応者ゼロへ 高血圧症・脂質異常症・糖尿病 に関して医療機関未受診 の状態の方をなくす	5 目指すべき目標※5 受診勧奨の 基準該当者を 999,999人削減	
2 医療費 ※2	999,999万円 999.9%	999,999万円 999.9%	999,999万円 999.9%	+999.9%	999,999円 高血圧症・脂質異常症・ 糖尿病に関して医療機関 を受診していない方			

項目	定義・算出方法等
受診勧奨の基準該当者	本解説書のP.3の「受診勧奨判定基準域」のいずれかに該当する加入者
1 該当者	上記基準に該当する方の人数（下段は、（該当者数）÷（健診データ対象加入者数））
2 医療費	上記基準に該当する方の医療費（下段は、（該当者の医療費）÷（貴組合における総医療費））
3 3カ年増加率	<ul style="list-style-type: none"> （最新年度の 1 該当者数）÷（最新年度－2年度の 1 該当者数）－1 （最新年度の 2 医療費）÷（最新年度－2年度の 2 医療費）－1
4 未対応者	<ul style="list-style-type: none"> 最新年度の 1 該当者のうち、高血圧症・脂質異常症・糖尿病の医療費が0円の方の人数 （上記の「未対応者」数）÷（最新年度の 1 該当者数）
5 1人あたり医療費	（最新年度の 2 医療費）÷（最新年度の 1 該当者数）
6 アウトカム指標	<p>2 医療費の「3カ年増加率」が、貴組合における総医療費の「3カ年増加率」と同水準となるために、削減したい 1 該当者の人数 具体的には、以下の式で算出 $\left(\left(2 \text{ 医療費の「3カ年増加率」} \right) - \left(\text{貴組合における総医療費の「3カ年増加率」} \right) \right) \times \left(1 \text{ 該当者数} \right)$</p> <p>例：最新年度における 1 該当者が100名、2 医療費が2000万円、2 医療費の3カ年増加率が+10%、 貴組合における総医療費の3カ年増加率が+5%の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 削減したい 2 医療費を、（2000万円×（10%－5%））＝100万円と設定し 削減したい 1 該当者は、削減したい 2 医療費を「1人あたり医療費」で除した金額（100万円÷（2000万円÷100名））＝5名 <p>※下線部が0以下となる場合は、「対前年度で透析予防治療の基準に該当する方を削減」を目標に設定</p>

アウトプット・アウトカム指標①

課題	課題の優先付けの視点					アウトプット指標	アウトカム指標			
	過年度の推移			3	4			5		
	2018年度	2019年度	2020年度	3カ年増加率 緊急度	未対応者※4 対応余地			1人あたり医療費※4 医療財政への影響度		
特定保健指導の判定基準該当者 (40歳未満の予備群を含む)※3	① 該当者 ② 医療費	① 該当者	999,999人 999.9%	999,999人 999.9%	999,999人 999.9%	+999.9%	特定保健指導の未実施者 (40歳未満の予備群は除く) ※「未対応者」の判定は40歳以上を対象とし、脂質の判定項目にはLDL-CやNon-HDL-Cは含みません	40歳未満の特定保健指導予備群含む	特定特定保健指導実施率の引き上げ 単一健保：30% 共済組合：30% 総合健保等：15% + 特定保健指導の未実施者やリピーター、40歳未満の予備群等に対して個別事業を実施	特定保健指導の対象者割合の減少 + 40歳未満の特定保健指導予備群の減少
		② 医療費	999,999万円 999.9%	999,999万円 999.9%	999,999万円 999.9%	+999.9%				
	① 該当者 ② 医療費	① 該当者	999,999人 999.9%	999,999人 999.9%	999,999人 999.9%	+999.9%				
		② 医療費	999,999万円 999.9%	999,999万円 999.9%	999,999万円 999.9%	+999.9%				
	① 該当者 ② 医療費	① 該当者	999,999人 999.9%	999,999人 999.9%	999,999人 999.9%	+999.9%				
		② 医療費	999,999万円 999.9%	999,999万円 999.9%	999,999万円 999.9%	+999.9%				

項目	定義・算出方法等
特定保健指導の判定基準該当者 (40歳未満の予備群を含む) (血圧・脂質・血糖)	年齢要件を除き、以下①②のいずれにも該当する加入者 ①P3の肥満(腹囲・BMIいずれか)が「保健指導判定基準域」に該当 ②P3の血圧・脂質・血糖のいずれかが「保健指導判定基準域」に該当 ※複数のリスク基準に抵触該当した場合は、各リスクの該当者としてカウントする
① 該当者	上記基準に該当する方の人数(下段は、(該当者数)÷(健診データ対象加入者数))
② 医療費	上記基準に該当する方の医療費(下段は、(該当者の医療費)÷(貴組合における総医療費))
③ 3カ年増加率	・(最新年度の① 該当者数)÷(最新年度-2年度の① 該当者数)-1 ・(最新年度の② 医療費)÷(最新年度-2年度の② 医療費)-1
④ 未対応者	・最新年度の特定保健指導の未実施者(本解説書P.15の「指導対象者数」から「実施者数」を差し引いた人数) ・最新年度の特定保健指導の未実施者の割合(上記の未実施者数)÷(本解説書P.15の「指導対象者」数)で算出
⑤ 1人あたり医療費	(最新年度において、血圧・脂質・血糖のいずれかで「特定保健指導の判定基準該当者」※となる方の医療費) ÷(最新年度において、血圧・脂質・血糖のいずれかで「特定保健指導の判定基準該当者」※となる方の人数) ※40歳未満の加入者を含む

① 貴組合における総医療費の3ヵ年(2018-2020)増加率	+999.9%
② 全保険者における総医療費の3ヵ年(20XX-20XX)増加率	+999.9%

項目	定義・算出方法等
① 貴組合における総医療費の3ヵ年増加率	(最新年度の貴組合の総医療費) ÷ (最新年度 - 2年度の貴組合における総医療費) - 1 で算出
② 全保険者における総医療費の3ヵ年増加率	「総医療費の3ヵ年増加率」(厚生労働省) 参照 ※貴組合の属する制度区分(組合管掌健康保険または共済組合)における総医療費の3ヵ年増加率を表示

アウトプット・アウトカム指標②

課題	課題の優先付けの視点							アウトプット指標	アウトカム指標
	過年度の推移			3 3か年増加率	4 保健指導判定基準該当者 ※1・※2	5 要対応者※2	6 1人あたり医療費※2・※3	目標達成に向けた具体的な取組	目指すべき目標
	2021年度	2022年度	2023年度					要対応者に対して個別事業を実施	要対応者の割合を10%まで減少
1 該当者 飲酒によるリスク者	367人 6.6%	317人 5.9%	265人 5.1%	-27.8%	95人 (-14.4%)	44人	129円		
2 医療費	4,681万円 5.8%	3,452万円 4.6%	4,057万円 4.5%	-13.3%					

項目	定義・算出方法等																																																																	
飲酒によるリスク者	<p>以下のいずれかに該当する方を「飲酒によるリスク者」と定義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2024年度～ <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">飲酒頻度</th> <th colspan="5">飲酒量</th> </tr> <tr> <th>1合未満</th> <th>1～2合未満</th> <th>2～3合未満</th> <th>3～5合未満</th> <th>5合以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>毎日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>週5～6日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>週3～4日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>週1～2日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>月1～3日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・～2023年度まで <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">飲酒頻度</th> <th colspan="4">飲酒量</th> </tr> <tr> <th>1合未満</th> <th>1～2合未満</th> <th>2～3合未満</th> <th>3合以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>毎日</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>時々</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ほとんど飲まない</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;"> …男・女共通の判定基準 …女性の判定基準 </p>	飲酒頻度	飲酒量					1合未満	1～2合未満	2～3合未満	3～5合未満	5合以上	毎日						週5～6日						週3～4日						週1～2日						月1～3日						飲酒頻度	飲酒量				1合未満	1～2合未満	2～3合未満	3合以上	毎日					時々					ほとんど飲まない				
飲酒頻度	飲酒量																																																																	
	1合未満	1～2合未満	2～3合未満	3～5合未満	5合以上																																																													
毎日																																																																		
週5～6日																																																																		
週3～4日																																																																		
週1～2日																																																																		
月1～3日																																																																		
飲酒頻度	飲酒量																																																																	
	1合未満	1～2合未満	2～3合未満	3合以上																																																														
毎日																																																																		
時々																																																																		
ほとんど飲まない																																																																		
1 該当者	上記基準に該当する方の人数（下段は、（該当者数）÷（健診データ対象加入者数））																																																																	
2 医療費	上記基準に該当する方の医療費（下段は、（該当者の医療費）÷（貴組合における総医療費））																																																																	
3 3か年増加率	<ul style="list-style-type: none"> ・（最新年度の 1 該当者数）÷（最新年度－2年度の 1 該当者数）－1 ・（最新年度の 2 医療費）÷（最新年度－2年度の 2 医療費）－1 																																																																	
4 保健指導判定基準該当者	最新年度の 1 該当者のうち、本解説書P.35の「特定保健指導」の定義②のいずれかに該当する方を「保健指導判定基準該当者」と定義し、その人数を表示 （下段の割合部分は、（保健指導判定基準該当者数）÷（最新年度の 1 該当者数））																																																																	
5 要対応者	最新年度の 1 該当者のうち、飲酒頻度が「毎日」かつ飲酒量が「3合以上」に該当する加入者数 （下段の割合部分は、（要対応者数）÷（最新年度の 1 該当者数））																																																																	
6 1人あたり医療費	飲酒により想定されるリスクとして肝硬変の1人あたり医療費を記載しており、 （最新年度の 1 該当者におけるICD10＝K74の医療費）÷（最新年度の 1 該当者数）で算出																																																																	

アウトプット・アウトカム指標②

課題	課題の優先付けの視点							アウトプット指標	アウトカム指標	
	過年度の推移			3 3カ年増加率	4 保健指導 判定基準該当者 ※1・※2	5 要対応者※2 対応余地	6 1人あたり 医療費※2・※3 医療財政への 影響度			
	9999年度	9999年度	9999年度							
喫煙による リスク者	1 該当者	999,999人 999.9%	999,999人 999.9%	999,999人 999.9%	+999.9%	緊急度	対応余地	9,999,999円	目標達成に向けた 具体的な取組	目指すべき目標
	2 医療費	9,999,999万円 999.9%	9,999,999万円 999.9%	9,999,999万円 999.9%	+999.9%					

項目	定義・算出方法等
喫煙によるリスク者	健診データにおいて「喫煙している」に該当する方を「喫煙によるリスク者」と定義
1 該当者	上記基準に該当する方の人数（下段は、（該当者数）÷（健診データ対象加入者数））
2 医療費	上記基準に該当する方の医療費（下段は、（該当者の医療費）÷（貴組合における総医療費））
3 3カ年増加率	<ul style="list-style-type: none"> （最新年度の 1 該当者数）÷（最新年度－2年度の 1 該当者数）－1 （最新年度の 2 医療費）÷（最新年度－2年度の 2 医療費）－1
4 保健指導判定基準該当者	最新年度の 1 該当者のうち、本解説書P.35の「特定保健指導」の定義②のいずれかに該当する方を「保健指導基準該当者」と定義し、その人数を表示 （下段の割合部分は、（保健指導判定基準該当者数）÷（最新年度の 1 該当者数））
5 要対応者	最新年度の 1 該当者数と同じ （下段の割合部分は、最新年度の 1 該当者数割合と同じ）
6 1人あたり医療費	喫煙により想定されるリスクとして肺がんの1人あたり医療費を記載しており、 （最新年度の 1 該当者における肺がんの医療費）÷（最新年度の 1 該当者数）で算出

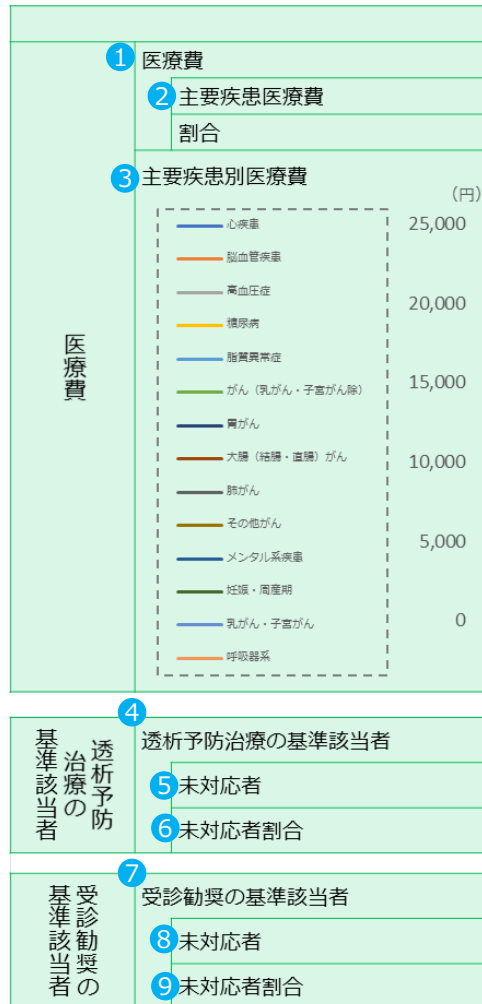
アウトプット・アウトカム指標②

課題	課題の優先付けの視点							アウトプット指標	アウトカム指標
	過年度の推移			3カ年増加率	保健指導判定基準該当者 ※1・※2	要対応者※2	1人あたり医療費※2・※3	目標達成に向けた具体的な取組	目指すべき目標
	9999年度	9999年度	9999年度	緊急度	対応余地	医療財政への影響度			
① 該当者	999,999人 999.9%	999,999人 999.9%	999,999人 999.9%	+999.9%	-	999,999人 999.9%	9,999,999円	要対応者に対して個別事業を実施	該当者の割合を減少
② 医療費	9,999,999万円 999.9%	9,999,999万円 999.9%	9,999,999万円 999.9%	+999.9%		保健指導の 血圧・脂質・血糖 それぞれの判定 基準に全て該当	糖尿病発症時の 医療費		

項目	定義・算出方法等
非肥満の生活習慣病リスク者	腹囲が85cm未満(男性)・90cm未満(女性) かつ BMI値が25未満の方のうち、血圧・脂質・血糖のいずれか2項目以上が本解説書のP.3の「保健指導判定基準域」に該当する方を「非肥満の生活習慣病リスク者」と定義
① 該当者	上記基準に該当する方の人数（下段は、（該当者数）÷（健診データ対象加入者数））
② 医療費	上記基準に該当する方の医療費（下段は、（該当者の医療費）÷（貴組合における総医療費））
③ 3カ年増加率	<ul style="list-style-type: none"> ・（最新年度の① 該当者数）÷（最新年度－2年度の① 該当者数）－1 ・（最新年度の② 医療費）÷（最新年度－2年度の② 医療費）－1
④ 要対応者	最新年度の① 該当者のうち、血圧・脂質・血糖の3つにおいて基準に該当する加入者数（下段は割合部分は、（要対応者数）÷（最新年度の① 該当者数））
⑤ 1人あたり医療費	想定されるリスクとして糖尿病の1人あたり医療費を記載しており、（最新年度の① 該当者における糖尿病の医療費）÷（最新年度の① 該当者数）で算出

種類	検診受診状況(2023年度)				アウトプット指標	アウトカム指標
	対象年齢※1	受診間隔※1	① 検診受診率	② 要精密検査該当率	目標達成に向けた具体的な取組	目指すべき目標
胃がん	50歳以上	2年に1回	119.7%	3.2%	検診対象の年齢層に対して個別事業を実施	検診受診率60% 精密検査受診率90%
肺がん	40歳以上	毎年	30.8%	1.9%		検診受診率60% 精密検査受診率90%
大腸がん			30.8%	5.0%		検診受診率60% 精密検査受診率90%
乳がん	20歳以上	2年に1回	101.6%	5.3%		検診受診率60% 精密検査受診率90%
子宮頸がん			62.5%	5.9%		検診受診率60% 精密検査受診率90%

項目	定義・算出方法等
① 検診受診率	<p>胃がん：(最新年度の胃がん検診受診者数) ÷ (最新年度末時点で50歳以上の加入者の人数)</p> <p>肺がん：(最新年度の肺がん検診受診者数) ÷ (最新年度末時点で40歳以上の加入者の人数)</p> <p>大腸がん：(最新年度の大腸がん検診受診者数) ÷ (最新年度末時点で40歳以上の加入者の人数)</p> <p>乳がん：(最新年度の乳がん検診受診者数) ÷ (最新年度末時点で40歳以上の女性の加入者の人数)</p> <p>子宮頸がん：(最新年度の子宮頸がん検診受診者数) ÷ (最新年度末時点で20歳以上の女性加入者の人数)</p> <p>※本解説書のP.27-31における検診受診率の算出方法と同じ</p>
② 要精密検査該当率	<p>(がん検診で「要精密検査」の判定を受けた方の人数) ÷ (がん検診の受診者数)</p> <p>※各がん種類ごとに算出</p> <p>※本解説書のP.27-31における要精密検査該当率の算出方法と同じ</p>



項目	定義・算出方法等
① 医療費	貴組合における総医療費
② 主要疾患医療費	本解説書P.8の「主要疾患別構成割合」の心疾患～呼吸器系と同じ
③ 主要疾患別医療費	主要疾患別の1人あたり医療費 (算出式は以下の通り) (本解説書P.8医療費の構成割合グラフの「心疾患～呼吸器系」各項目の「医療費」) ÷ (本解説書P.2の「全加入者」)
④ 透析予防治療の基準該当者	本解説書P.33の「透析予防治療」における「該当者」の人数と同じ
⑤ 未対応者	本解説書P.33の「透析予防治療」における「未対応者」の人数と同じ
⑥ 未対応者割合	本解説書P.33の「透析予防治療」における「未対応者」の割合と同じ
⑦ 受診勧奨の基準該当者	本解説書P.34の「受診勧奨」における「該当者」の人数と同じ
⑧ 未対応者	本解説書P.34の「受診勧奨」における「未対応者」の人数と同じ
⑨ 未対応者割合	本解説書P.34の「受診勧奨」における「未対応者」の割合と同じ

保健事業の効果検証

特定健診・特定保健指導	① 特定健診受診者
	受診率
	② 特定保健指導対象者
	対象者割合
	③ 血圧リスク者
	④ 脂質リスク者
	⑤ 血糖リスク者
⑥ 特定保健指導改善脱却者	
⑦ 改善脱却者率	
生活習慣病対策	⑧ 飲酒によるリスク者
	⑧ 飲酒リスク者率
	⑨ 喫煙によるリスク者
	⑨ 喫煙リスク者率
⑩ 非肥満の生活習慣病リスク者	
⑩ 生活習慣病リスク者率	
がん検診受診	⑪ 胃がん受診率
	⑫ 要精密検査該当者
	⑪ 肺がん受診率
	⑫ 要精密検査該当者
	⑪ 大腸がん受診率
	⑫ 要精密検査該当者
	⑪ 乳がん受診率
	⑫ 要精密検査該当者
	⑪ 子宮頸がん受診率
	⑫ 要精密検査該当者

項目	定義・算出方法等
① 特定健診受診者	本解説書P.15の「健診受診者数」と同じ
② 特定保健指導対象者	本解説書P.15の「指導対象者数」と同じ
③ 血圧リスク者	特定保健指導の対象者のうち、本解説書P.3における血圧の「保健指導判定基準域」に該当する方
④ 脂質リスク者	特定保健指導の対象者のうち、本解説書P.3における脂質の「保健指導判定基準域」に該当する方
⑤ 血糖リスク者	特定保健指導の対象者のうち、本解説書P.3における血糖の「保健指導判定基準域」に該当する方
⑥ 特定保健指導改善脱却者	本解説書P.18の「改善脱却」と同じ
⑦ 改善脱却率	本解説書P.18の「脱却率」と同じ
⑧ 飲酒によるリスク者・リスク者率	本解説書P.37の「飲酒によるリスク者」の「該当者」の人数、割合と同じ
⑨ 喫煙によるリスク者・リスク者率	本解説書P.38の「喫煙によるリスク者」の「該当者」の人数、割合と同じ
⑩ 非肥満による生活習慣病リスク者・リスク者率	本解説書P.39の「非肥満による生活習慣病リスク者」の「該当者」の人数、割合と同じ
⑪ がん検診受診率	本解説書P.27-31,40の「胃がん」「肺がん」「大腸がん」「乳がん」「子宮頸がん」における「検診受診率」と同じ
⑫ 要精密検査該当者	本解説書P.27-31,40の「胃がん」「肺がん」「大腸がん」「乳がん」「子宮頸がん」における「要精密検査該当率」と同じ